

※今月のみ受注の書目です。

経済学

人口学の基礎（仮）

（2025 年 10 月中旬刊行予定）

石井太（慶應義塾大学経済学部教授）[著]

B5 判並製／ 304 頁 税込予価 4,950 円 ISBN978-4-7664-3072-1 C3033

👉 ココに注目！

- ・ 人口学の理論とエビデンスを身につける中級テキスト。
- ・ 数理モデルと最新データから人口学の概要が理解できる。
- ・ 人口問題を考えるための基礎的な知識を提供する。

社会や経済の様々な要因が密接に関わる人口問題。本書では、基本的な諸事実とそれを説明する数理モデルを丁寧に解説。標準的な理論から最新研究までしっかりと学べる。教科書として、また隣接分野から参照するうえでも最適な1冊。

対象（人口学を学ぶ専門課程の）学生／研究者

類書 稲葉寿『数理人口学』（東京大学出版会）

【営業部からのおすすめポイント】

「人口学」とは、人口の規模・構造・分布・変化を数量的に把握し、その要因や影響を分析する学問です。古くから存在する分野でありながら、これまであまり注目されてきませんでした。しかしコロナ禍を経て、疫学的な分析にも応用できる「実用的な学問」として再評価されつつあります。近年では、自治体が地方創成戦略などを策定する中で、人口動向の分析や将来人口の推計が不可欠となっており、行政担当者にも広く求められる分野となっています。本書は、そうした実務の現場にも応える一冊です。

（吉川）

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

はじめに

第1章 序論：人口学とは

1.1 人口学とは

第2章 人口学の基礎概念

2.1 人口と人口統計

2.2 人口分析に用いられる基礎概念

2.3 人口学的率の構造と人口成長率

第3章 人口規模の分析

3.1 人口増加のトレンドと要因

3.2 人口転換理論

3.3 人口増加の諸問題

第4章 人口構造の分析

4.1 人口の構造

4.2 性別の構造

4.3 年齢構造に関する分析

4.4 高齢化

第5章 死亡に関する分析

5.1 長寿化の動向

5.2 死亡分析に使われる人口統計と死亡の測定

5.3 生命表

5.4 死亡率低下と疫学的転換

5.5 死亡の格差

5.6 死亡モデル

第6章 出生に関する分析

6.1 出生力と再生産の測定

6.2 出生水準の動向

6.3 出生力の決定要因

6.4 出生力転換

6.5 日本の出生力転換

第7章 人口推計

7.1 人口学における人口推計

7.2 レスリー行列による人口推計

7.3 「日本の将来推計人口」の推計方法と仮定設定

7.4 将来人口推計の政策議論への応用

第8章 安定人口理論

8.1 安定人口理論

8.2 安定人口年齢構成

8.3 真性人口増加率

8.4 繁殖価

8.5 安定人口理論の応用



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			石井太 著 人口学の基礎（仮） ISBN978-4-7664-3072-1 C3033	4,950 円	★★

★1つで「500部」を表します